

2025年3月期 第1四半期決算短信補足資料 (2024年4月－2024年6月)

2024年8月5日

マルハニチロ株式会社(TSE:1333)



2025年3月期 第1四半期概況

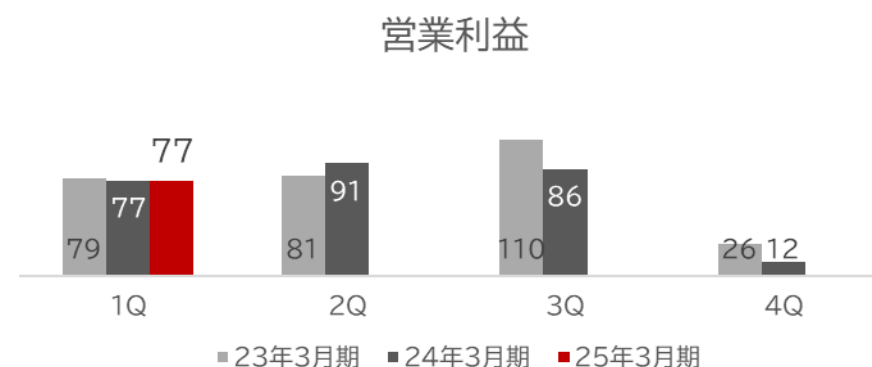
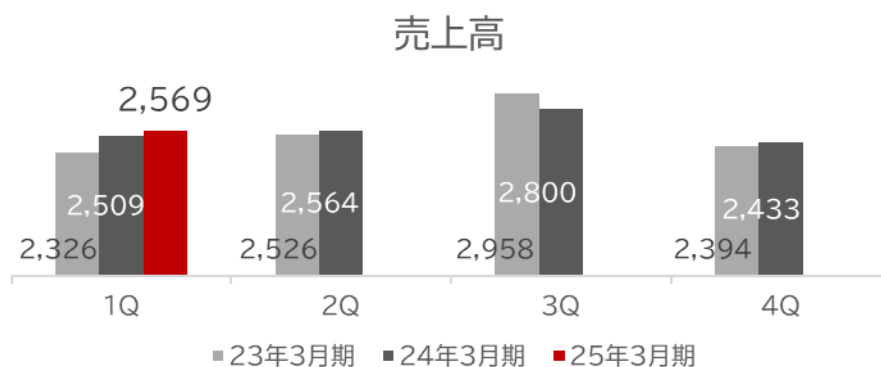
第1四半期決算のハイライト

売上高は、水産資源セグメント・加工食品セグメントの販売好調により増収。

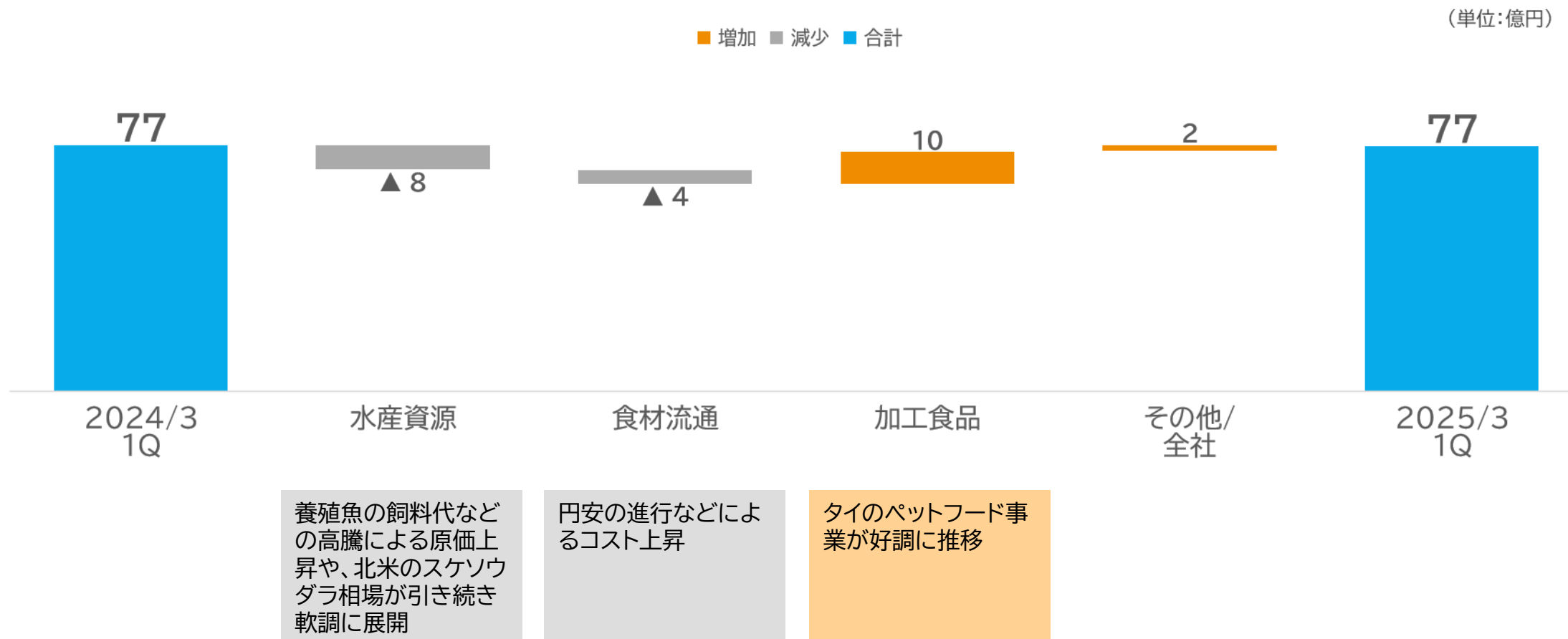
営業利益は、加工食品セグメントのペットフード事業(タイ)が好調に推移したものの、全体としては前年並み。

(単位:億円)

	25年3月期 1Q	24年3月期 1Q	前年対比		年間計画	
			増減	増減率	計画値	計画比
売上高	2,569	2,509	60	+2.4%	10,500	24.5%
営業利益 (営業利益率)	77 (3.0%)	77 (3.1%)	△0	△0.4%	300	25.5%
経常利益	99	112	△13	△12.0%	320	30.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	65	67	△1	△1.7%	190	34.4%
EBITDA	133	127	6	+4.8%	—	—



営業利益の増減要因(前年対比)



水産資源セグメントは、前年対比で減益。

- 養殖ユニットは、養殖魚の飼料代が引き続き高値継続していることにより、減益
(養殖ユニット営業利益 1億円、前年対比 Δ 7億円)

食材流通セグメントは、前年対比で減益。

- 水産商事ユニットは、円安によるコスト上昇や、一部魚種における取扱数量の減少により、減益
(水産商事ユニットの営業利益16億円、前年対比 Δ 4億円)

加工食品セグメントは、前年対比で増益。

- 加工食品ユニットは、ペットフード事業(タイ)が好調に推移し、増益
(加工食品ユニットの営業利益 30億円、前年対比 +10億円)

第1四半期 連結貸借対照表

(単位:億円)

	24年6月末	24年3月末	増減	主な内容(前期末比)
流動資産	4,328	4,050	278	現預金(△25)、売上債権(+125)、棚卸資産(+170)
固定資産	2,754	2,668	86	有形固定資産(+22)、無形固定資産(+4)、 投資有価証券(+52)
資産合計	7,082	6,718	364	
流動負債	2,745	2,730	16	仕入債務(+91)、短期借入金(△53)
固定負債	1,771	1,534	237	社債(+150)、長期借入金(+79)
負債合計	4,516	4,263	253	
株主資本	1,829	1,789	40	利益剰余金(+40)
その他包括累計	349	283	67	
非支配株主持分	387	384	3	
純資産合計	2,565	2,455	110	
負債純資産合計	7,082	6,718	364	
有利子負債	3,019	2,844	176	(社債+150を含む)
自己資本比率	30.8%	30.8%	△ 0.1	

【資産の増加+364億円】

- ・季節要因による棚卸資産の増加
- ・販売増に伴う売上債権の増加
- ・株高による投資有価証券の評価差額の増加

【負債の増加+253億円】

- ・有利子負債の増加
- ・仕入債務の増加

第1四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	25年3月期 1Q	24年3月期 1Q	増減	主な内容
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 96	△ 62	△ 34	<ul style="list-style-type: none"> ・税金等調整前四半期純利益 (+98) ・減価償却費(のれん含む) (+46) ・売上債権の増減額<増加:△> (△113) ・棚卸資産の増減額<増加:△> (△154) ・仕入債務の増減額<減少:△> (+89) ・その他流動負債の増減額<減少:△> (+30) ・法人税等の支払額 (△63) ・未払消費税等の増減額<減少:△> (△23)
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 47	△ 24	△ 23	<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産の取得による支出 (△53) ・利息及び配当金の受取額 (+11)
財務活動による キャッシュ・フロー	100	32	68	<ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金の増減額<減少:△> (△86) ・長期借入金の増減額<減少:△> (+89) ・社債の発行による収入 (+149) ・配当金の支払額 (△25) ・利息の支払額 (△12)
現金・現金同等物の 期末残高	331	285	46	—

養殖魚の原価上昇や、スケソウダラ相場(北米)の軟調な展開が続き、全体で93%減益

(単位: 億円)

	ユニット	25年3月期 1Q (A)	24年3月期 1Q (B)	前年対比(A-B)	
				増減	増減率
売上高	漁業	102	89	14	+15.3%
	養殖	40	41	△ 2	△3.9%
	北米	407	393	13	+3.3%
	セグメント計	548	523	25	+4.8%
	営業利益	1	8	△ 8	△92.9%
	営業利益率(%)	0.1%	1.6%	△ 1.5	—

● 漁業

クロマグロ(日本近海)の魚価は下落した一方で、イカやアジ(ニュージーランド)の漁獲増、及びカツオ(ミクロネシア)の漁獲増により、増収・損益改善。

● 養殖

ブリ・カンパチの販売数量減により減収、飼料代などの高騰による原価上昇などにより減益。

● 北米

<北米>

マダラ製品などの販売数量増により増収も、主力のスケソウダラのすりみ・フィレの相場が引き続き軟調な展開が続き、利益率低下により減益。

<欧州>

高利益商材の販売に注力したこと、販売数量の拡大により、増収増益。

円安の進行などによるコスト上昇分を補いきれず、全体で10%減益

(単位: 億円)

	ユニット	25年3月期 1Q (A)	24年3月期 1Q (B)	前年対比(A-B)	
				増減	増減率
売上高	水産商事	718	743	△ 25	△3.4%
	食材流通	583	559	24	+4.3%
	農畜産	250	262	△ 12	△4.5%
	セグメント計	1,551	1,564	△ 13	△0.9%
	営業利益	38	42	△ 4	△10.4%
	営業利益率(%)	2.4%	2.7%	△ 0.3	—

● 水産商事

前期苦戦した冷凍マグロの市況は回復傾向にあるものの、その他魚種における円安によるコスト上昇や、一部魚種における取扱数量の減少により、減収減益。

● 食材流通

グループ内連携を強化し、市場変化に合わせた業態ニーズを把握したうえで拡販に努め、増収。一方、業務効率の改善、及び工場の生産性向上に努めたものの、円安の進行や原材料価格の上昇などによるコスト増加分を補いきれず、減益。

● 農畜産

欧州からの輸入豚肉の取扱量が減少して減収となったものの、円安の進行などによる調達コスト上昇分を販売価格へ反映できたことにより、増益。

ペットフード事業の北米向け販売が好調に推移し、全体で46%増益

(単位: 億円)

	ユニット	25年3月期 1Q (A)	24年3月期 1Q (B)	前年対比(A-B)	
				増減	増減率
売上高	加工食品	401	358	44	+12.2%
	ファインケミカル	19	17	2	+14.5%
	セグメント計	420	374	46	+12.3%
	営業利益	33	23	10	+45.7%
	営業利益率(%)	7.9%	6.1%	1.8	—

- **加工食品**

価格改定の実施や広告宣伝の強化が売上に寄与したこと、及びペットフード事業において主に北米向け販売が好調に推移し、増収増益。

- **ファインケミカル**

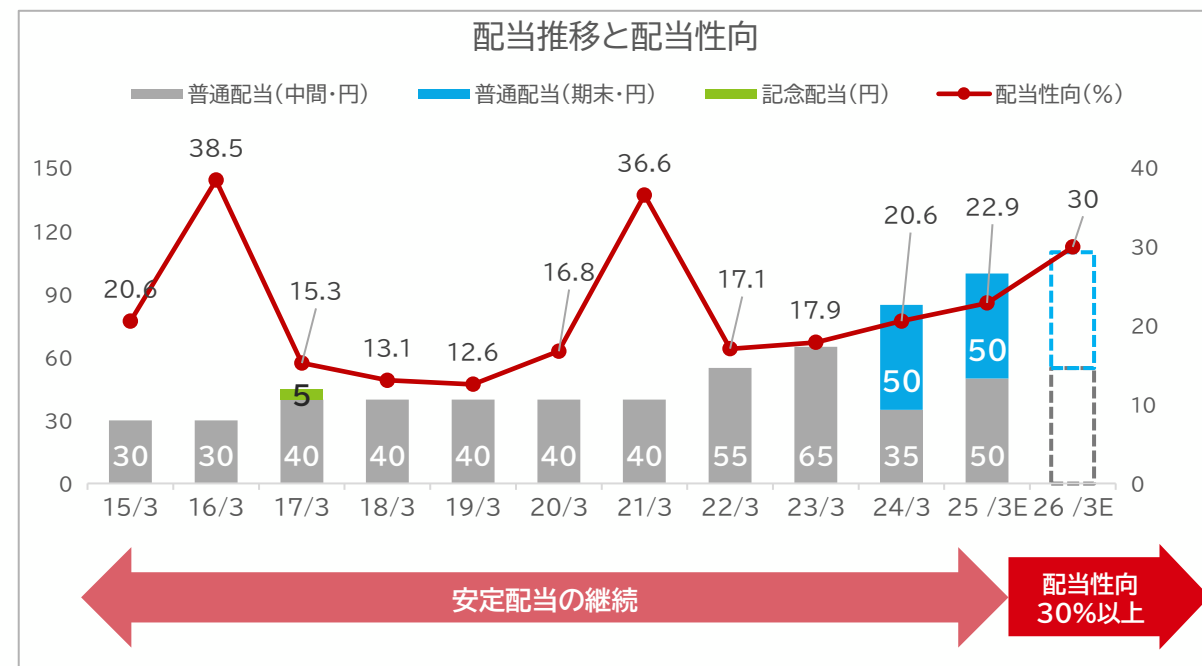
DHA・EPA及びプロタミン、医薬用コンドロイチンなどの販売が好調に推移し、増収増益。

今後の見通し・施策

- 政策保有株式の売却による特別利益61億円を第2四半期に計上予定。売却により得た資金は、成長投資・人財投資・株主還元などへの充当を検討(2026年3月期より始まる次期中期経営計画にて公表予定)
- 上記特別利益の計上により、今期の連結業績予想を上方修正(親会社に帰属する当期純利益:190億円→220億円)
- 今期年間配当は、1株当たり100円を検討。次期中期経営計画策定において配当政策を議論(配当性向30%以上を目指す)
- 財務規律の維持を前提に、株主価値の向上に向けた施策を随時検討

(単位:億円)

	25年3月期 1Q(A)	25年3月期 (期初計画)	25年3月期 (修正後計画) (B)	年間計画比 (A/B)
売上高	2,569	10,500	10,500	24.5%
営業利益	77	300	300	25.5%
経常利益	99	320	320	30.8%
親会社に帰属する当期純利益	65	190	220	29.7%



厳しい事業環境は継続するも、コスト低減策や生産性を向上し、収益を改善

(単位: 億円)

	ユニット	25年3月期 1Q	計画対比	
			25年3月期	進捗率
売上高	漁業	102	462	22.2%
	養殖	40	166	23.8%
	北米	407	1,800	22.6%
	セグメント計	548	2,428	22.6%
	営業利益	1	75	0.8%
	営業利益率(%)	0.1%	3.1%	—

● 漁業

燃油などコスト面での厳しい事業環境は継続する見込み。操業隻数・時期などを含めて操業体制を見直すほか、販売ルートを多様化させる。

● 養殖

飼料代などのコスト上昇、及びぶり相場の軟調は継続。原料価格の低減施策を進めながら、安定供給を軸とした販売価格の安定化、アジアを中心とした輸出拡大に注力し、原料価格・販売価格ともに相場連動性の低減に努める。

● 北米

<北米>

スケソウダラの相場は、引き続き軟調な展開ではあるものの、市場における供給量の変化により上向きつつある。消費は底堅い一方、事業コストは高止まり。生産及び販売アイテムの最適化と生産効率の最大化を図る。

<欧州>

水産物は全般的に軟調な相場。寿司ネタやアジアフードなどを中心に拡販をさらに強化し、販売数量を拡大させる。

生産・調達コストの上昇を懸念。顧客起点のもと、環境の変化に速やかに対応し、収益を向上

(単位:億円)

	ユニット	25年3月期 1Q	計画対比	
			25年3月期	進捗率
売上高	水産商事	718	2,858	25.1%
	食材流通	583	2,459	23.7%
	農畜産	250	849	29.5%
	セグメント計	1,551	6,166	25.1%
	営業利益	38	100	38.0%
	営業利益率(%)	2.4%	1.6%	—

● 水産商事

輸入水産物の供給は概ね安定している一方、円安や物流費などの上昇により、国内における水産物の販売価格は上昇傾向。効率的な調達と販売による適正在庫の徹底や、為替予約によるリスクヘッジを実施。グループ内協業を一層加速させ、強固な事業基盤を構築する。

● 食材流通

引き続き円安や地政学的リスクによるコスト上昇を懸念。グループ内連携の強化、業務効率の改善・生産性の向上に努めるほか、生産・販売両面での効率化を推進し、全体最適を図る。

● 農畜産

調達コストは上昇が継続するも、国内市場は低価格志向が継続。国内外の調達網を活用して変動する環境への適時対応に努める。

家庭用冷凍食品は(国内)は9月に価格改定を実施。ペットフード事業(タイ)は引き続き堅調に推移する見込み

(単位:億円)

	ユニット	25年3月期 1Q	計画対比	
			25年3月期	進捗率
売上高	加工食品	401	1,630	24.6%
	ファインケミカル	19	81	23.5%
	セグメント計	420	1,712	24.6%
	営業利益	33	118	28.0%
	営業利益率(%)	7.9%	6.9%	—

● 加工食品

さらなる生産性の向上、及び広告宣伝を強化するほか、家庭用冷凍食品(国内)は9月に価格改定を実施。ペットフード事業(タイ)は引き続き堅調に推移する見込み。

● ファインケミカル

インバウンド需要の未回復や原材料価格の上昇などの厳しい事業環境を見込む。既存品の拡販や藻由来のDHAなど新規の取組みを進める。

Appendix

2025年3月期第1四半期 連結損益計算書

(単位:億円)

	25年3月期 1Q	24年3月期 1Q	増減	主な内容
売上高	2,569	2,509	60	
売上原価	2,213	2,169	44	
売上総利益	357	341	16	
販売費・一般管理費	280	264	16	
営業利益	77	77	△ 0	
営業外収益	34	44	△ 10	為替差益(11)
営業外費用	12	8	3	
経常利益	99	112	△ 13	
特別利益	1	1	0	
特別損失	1	6	△ 5	
税金等調整前四半期純利益	98	107	△ 8	
法人税等	23	35	△ 12	
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	6	5	
親会社株主に帰属する四半期純利益	65	67	△ 1	

2025年3月期第1四半期 セグメント・ユニット別

(単位:億円)

セグメント	ユニット	売上高				営業利益						経常利益			
		25年3月期1Q (A)	24年3月期1Q (B)	前年対比(A-B)		25年3月期1Q (C)		24年3月期1Q (D)		前年対比(C-D)		25年3月期1Q (E)	24年3月期1Q (F)	前年対比(E-F)	
				増減	増減率		営業利益率		営業利益率	増減	増減率			増減	増減率
水産資源	漁業	102	89	14	+15.3%	△ 9	—	△ 10	—	1	—	△ 2	△ 6	5	—
	養殖	40	41	△ 2	△3.9%	1	3.6%	8	19.4%	△ 7	△82.3%	2	8	△ 6	△76.4%
	北米	407	393	13	+3.3%	8	2.0%	10	2.6%	△ 2	△22.2%	9	20	△ 11	△56.5%
	セグメント計	548	523	25	+4.8%	1	0.1%	8	1.6%	△ 8	△92.9%	9	22	△ 13	△58.7%
	(国内 内訳)	159	169	△ 10	△5.7%	△ 3	—	9	5.4%	△ 13	—	—	—	—	—
	(海外 内訳)	389	354	35	+9.8%	4	1.0%	△ 1	—	5	—	—	—	—	—
食材流通	水産商事	718	743	△ 25	△3.4%	16	2.3%	20	2.7%	△ 4	△18.1%	18	21	△ 3	△16.3%
	食材流通	583	559	24	+4.3%	15	2.6%	16	2.9%	△ 1	△5.3%	17	17	0	+1.9%
	農畜産	250	262	△ 12	△4.5%	6	2.5%	6	2.4%	0	+1.4%	10	8	2	+19.7%
	セグメント計	1,551	1,564	△ 13	△0.9%	38	2.4%	42	2.7%	△ 4	△10.4%	45	46	△ 2	△3.3%
	(国内 内訳)	1,543	1,554	△ 11	△0.7%	38	2.5%	43	2.7%	△ 4	△9.9%	—	—	—	—
	(海外 内訳)	8	10	△ 2	△21.7%	△ 0	—	△ 0	—	△ 0	—	—	—	—	—
加工食品	加工食品	401	358	0	+12.2%	30	7.4%	20	5.6%	10	+48.7%	25	22	3	+12.1%
	ファインケミカル	19	17	2	+14.5%	3	16.7%	3	15.7%	1	+22.3%	3	2	1	+34.5%
	セグメント計	420	374	46	+12.3%	33	7.9%	23	6.1%	10	+45.7%	28	24	3	+14.2%
	(国内 内訳)	289	275	14	+4.9%	14	4.9%	20	7.1%	△ 5	△27.7%	—	—	—	—
	(海外 内訳)	132	99	33	+33.0%	19	14.4%	3	3.2%	16	+495.0%	—	—	—	—
	物流	45	47	△ 2	△4.2%	8	17.3%	8	16.5%	0	0.0%	8	8	△ 0	△1.7%
	その他	5	1	4	+431.6%	4	75.0%	1	74.7%	3	+433.8%	4	1	3	+427.8%
	全社	—	—	—	—	△ 7	—	△ 5	—	△ 1	—	6	12	△ 6	△49.0%
	合計	2,569	2,509	60	+2.4%	77	3.0%	77	3.1%	△ 0	△0.4%	99	112	△ 13	△12.0%
	(国内 内訳)	2,037	2,043	△ 6	△0.3%	51	2.5%	74	3.6%	△ 23	△31.3%	—	—	—	—
	(海外 内訳)	533	466	66	+14.3%	26	4.8%	3	0.6%	23	+850.7%	—	—	—	—

【参考】直近4年間のセグメント・ユニット別(現組織への組換え後数値)

	売上高				営業利益				(単位:億円)
	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 (計画)	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 (計画)	
漁業ユニット	315	422	385	462	3	18	△10	20	
養殖ユニット	146	159	160	166	0	16	7	4	
北米ユニット	1,013	1,529	1,716	1,800	36	56	32	52	
水産資源セグメント 計	1,474	2,109	2,261	2,428	39	90	29	75	
(国内 内訳)	572	670	649	699	3	18	1	4	
(海外 内訳)	902	1,439	1,612	1,729	35	72	29	72	
水産商事ユニット	2,798	3,093	2,981	2,858	46	35	25	40	
食材流通ユニット	1,948	2,238	2,344	2,459	21	25	62	48	
農畜産ユニット	711	860	924	849	7	8	13	12	
食材流通セグメント 計	5,457	6,191	6,249	6,166	74	69	100	100	
(国内 内訳)	5,437	6,158	6,214	6,123	74	72	101	98	
(海外 内訳)	20	33	35	44	0	△3	△1	1	
加工食品ユニット	1,497	1,647	1,525	1,630	95	98	95	105	
ファインケミカルユニット	68	78	79	81	15	14	11	13	
加工食品セグメント 計	1,566	1,724	1,604	1,712	110	112	106	118	
(国内 内訳)	1,121	1,136	1,132	1,180	56	30	64	63	
(海外 内訳)	444	589	471	531	54	82	42	55	
物流	166	176	176	176	11	16	23	18	
その他/全社	4	4	17	18	5	9	7	△11	
合計	8,667	10,205	10,307	10,500	238	296	265	300	
(国内 内訳)	7,292	8,131	8,172	8,181	150	144	187	186	
(海外 内訳)	1,375	2,073	2,134	2,319	88	152	79	114	

※2023年3月期及び2024年3月期の実績を修正。2024年5月7日公表の決算短信補足資料からの変更箇所は、青字で表記。

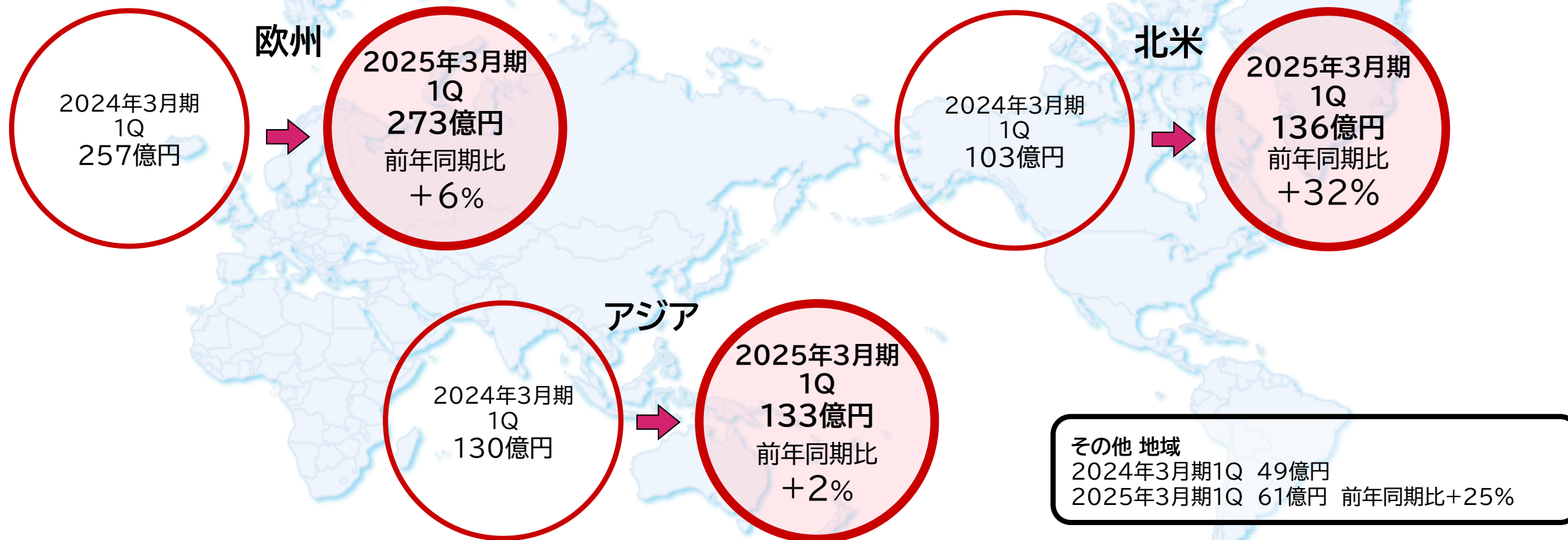
※当スライドの数値は、参考情報として作成(2022年3月期数値は概算)

※国内…マルハニチロ(株)+国内連結子会社の合計、海外…海外連結子会社の合計

2025年3月期 第1四半期の海外売上高

海外売上高	2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q	2025年3月期 (中計当初計画)
	539億円	603億円	2,150億円

海外売上高 比率	2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q	2025年3月期 (中計当初計画)
	21.5%	23.5%	22.4%



※本スライドにおける海外売上高とは、エリアごとの販売金額を示す

Thank You



MARUHA NICHIRO

海といのちの未来をつくる

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料の著作権やその他書類にかかる一切の権利はマルハニチロ株式会社に属します。